



✓ 中期計画達成状況業務の実施状況の内訳

中期目標を達成するために、100項目の中期計画に取り組んだ。全体的な達成状況は、中期計画を上回って実施している（A評価）が8項目（8.0%）、中期計画を十分に実施している（B評価）が85項目（85.0%）、中期計画を十分には実施していない（C評価）が7項目（7.0%）という結果であった。

一部項目で遅れがあるものの、**A評価及びB評価が全体の90%を超えている**ことから、中期計画を十分に実施したと認められる。

◀ 評価概要 ▶

	項目数	A	B	C	D
➡ 教育研究等の質の向上に関する事項	58	5	48	5	0
➡ 業務運営の改善及び効率化に関する事項	11	1	10	0	0
➡ 財務内容の改善に関する事項	5	1	4	0	0
➡ 自己点検・評価及び情報公開に関する事項	4	1	3	0	0
➡ その他業務運営に関する事項	22	0	20	2	0
合計	100	8	85	7	0

✓ 特筆すべき成果

➡ 学生募集活動の強化(No.2)

・高校生を対象としたオープンキャンパス等について、参加状況等を分析し、開催時期や内容の見直しを行った。

➡ キャリア支援教育の充実(No.14)

・キャリアセンターを中心にキャリア支援・就職支援プログラムを実施した結果、学部学生の就職率が高水準で推移した。

➡ 地方公共団体等の政策形成への積極的な参加(No.46)

・地方公共団体等の各種委員会や審議会に多数の教員が積極的に参加した。

➡ 教員人事評価の本格運用(No.57)

・教育、研究活動及び地域貢献活動を総合的に評価する人事評価制度を確立し運用を開始するとともに、処遇への反映を制度化した。

◀ 評価基準の定義 ▶

A：中期計画を上回って実施している

C：中期計画を十分に実施していない

B：中期計画を十分に実施している

D：中期計画を実施していない。

➡ グループウェアの活用(No.61)

・グループウェアをクラウド版に移行し、利用環境の充実に努めるとともに、情報共有の一元化や電子申請の導入等、業務の効率化を図った。

✓ 取組みの遅れたもの

➡ 学部から大学院までの一貫教育システムの構築(No.27,28)

・学部から大学院博士前期課程までの6年間教育や大学院5年間教育システムの検討を行ったが、システム構築までは至らなかった。

➡ 新たな海外大学との学生交換留学の制度化(No.50)

・吉林建筑工程学院城建学院等との交換留学生の制度化を検討したが、制度化までは至らなかった。

➡ 大学院入学者の確保(No.81,82)

・大学院博士前期課程及び大学院博士後期課程において、入学定員を満たさない年度や専攻があった。

✓ 主な評価指標達成状況

指標	法人化前	達成目標	実績	
学部の入学定員充足率	100.0%	100%以上	109.7%	達成
学部の学生の標準修業年限内卒業率	73.3%	80%以上	81.1%	達成
学部の学生の就職率	91.9%	95%以上	99.0%	達成
博士学位取得者数	1.7人	3.0人以上	2.2人	未達成
連携による公開講座の参加者数	535人	550人以上	405人	未達成
外部資金の金額	39,254千円	78,000千円以上	87,765千円	達成
博士前期課程の入学定員充足率	78.1%	100%以上	85.4%	未達成
博士後期課程の入学定員充足率	25.0%	100%以上	75.0%	未達成